

【ご注意ください！】ブルベは走行距離・時間が長いため、確実に前方を照らすライトの装備が必要です。**ライトの無い方、フラッシュライトタイプのみの方は出走できません。** 必ず注意事項をご覧ください。

【必ずお読みください！！】注意事項

BRM528 近畿 600km 泉佐野 タイムテーブル	
5:30~6:30	受付 お弁当申込 (りんくう公園・右図参照)
6:30	ブリーフィング後装備チェック
7:00	スタート
7:30	スタート地点クローズ
10:30~14:56	PC1(田辺・ローソン田辺元町中之谷店)※ レシートチェック
12:39~19:48	PC2(串本・ローソン串本町串本店) ※レシートチェック
16:32~04:08	PC3(紀伊長島・道の駅マンボウ) ※有人チェック
18:32~08:24	PC4(志摩磯部・ファミリーマート志摩磯部 店)※レシートチェック
随時	通過チェック(鳥羽市・ファミリーマート鳥羽 松尾町店) ※レシートチェック
20:20~12:04	PC5(勢和多気・ファミリーマート勢和多気 店) ※レシートチェック
23:46~18:56	PC6(五條・サークルK五條病院前店) ※レシートチェック
随時	通過チェック(和歌山・セブンイレブ ン和歌山下三毛店) ※レシートチェック
01:48~23:00	フィニッシュ(泉南市・樽井公民館)



■アクセス方法

● 輪行の場合

南海本線・JRりんくうタウン駅、南海本線羽倉崎駅
(りんくうタウン駅にコインロッカー有り)

● 車の場合

阪神高速湾岸線・泉佐野南ランプ下車、または
阪和自動車道泉佐野JCTを経て関西空港自動車道泉佐野
駐車場は、周辺に多数あります。

● 受付・ブリーフィング・スタート

受付場所のりんくう公園の利用は、占有ではなくあくまで「一般利用」です。他の利用者とのトラブルはくれぐれも避けてください。

受付では参加申込書(参加誓約書)を提出し、ブルベカードを受け取ってください。ブルベカードを受け取ったら必ず氏名・住所を確認してください。カード記載内容を確認したら、検車と装備チェックを受けて、ブルベカードにスタッフのサインをもらって下さい。

ブリーフィングでは、ローカルルールやコースを説明しますので、各自でキューシートやマップ、筆記用具等を必ずご用意ください。装備チェック後、順次スタートしてください。

スタート後、10人以上の集団にならないよう、特に注意して走行してください。公道を走りますので、他の車・歩行者等に迷惑をかけるよう心がけてください。

● ルートマップ・ブルベカード・コントロールポイント(PC)

ルートマップ、キューシートはオダックス近畿のwebサイトから各自ダウンロードしてご利用ください。当日の配布は行いません。当日受付でお渡しするブルベカードにはコントロールポイント(PC)の位置と距離、オープン&クローズの時刻が記載してあり、それに各PCで到着時刻を記入し、サインをスタッフにしてもらいます。

カードが濡れないよう防水のケースにいれるようにしてください。

● 装備・補給

装備は、実施要項に準じます。**ヘルメット、反射ベスト等、ライト(2灯以上 点滅のみは不可)、尾灯(点灯可のもの。点滅のみは不可)は義務**です。

集合場所には売店はありません。近くにコンビニがあるので必要な方は、事前に補給の用意をしてください。PCはコンビニに設置してあります。またルート上には多数あります。

● チェック・リタイア・フィニッシュ

PCで通過時間をご自身で記入の上、スタッフにサインをもらってください。「レシートチェック」と記載があるPCは、レシートで通過チェックをします。有人PCもしくははゴール地点でスタッフがレシートをもとにPCの到着時間を確認しますので、レシートを無くさないようにしてください。リタイアした場合、最寄りの鉄道等を利用して帰宅してください。主催者による回収は行いません。**リタイアの場合は、本部携帯電話に必ず連絡(リタイア理由、場所、時刻、リタイア後の行動)を入れてください。**

ゴール受付提出場所は、「樽井公民館」

お弁当は500円です。

PC3 道の駅「マンボウ」でお渡しします。

ドロップバッグは有りません。

泉佐野 600km 紀伊半島一周 ロードブック

コースを走るにあたり、ブリーフィングの内容を簡単にまとめてみました。参考にしてください 車の渋滞を招くことにもなりますので、10人以上の集団にならないように注意してください。また集団で走ると、事故の原因にも繋がります。特に注意してください！

- 1、スタート地点のりんくう公園を出たら、すぐに大きな橋を渡ります。その後も、もう一つ大きな橋があります。両方の橋とも、車道は橋の継ぎ目が大きく開いていますので、歩道をゆっくり進んでください。歩行者や、車止めに注意。
- 2、樽井りんくう南口交差点を過ぎたら、車道は高架になりますが、自転車は側道に入って、高架下にある南海本線踏切を渡る。
- 3、岡中西交差点を右折。ちょっとした峠を越えて下ったら、信号のある和泉鳥取交差点を左折。マップでしっかり確認しましょう。
- JR山中溪(やまなかだに)駅前を過ぎると峠道が始まります。
- 4、阪和自動車道と併走する雄の山峠を過ぎると、つづら折れの激下り！事故多し！対向車注意！
- 5、【15. 8km地点】激下りのあと、旧道との分岐があります。細い旧道(下り)へ入ってください。
- 6、道なりに進むとR24との交差点に出ます。金山寺味噌の店が目印。R24は走らず、直進します。
- 7、道なりに進むとR24と再び合流。川辺交差点を左折。川辺大橋で紀ノ川を渡ります。橋は歩道を走りましょう。
- 8、橋を渡ってすぐのT字交差点は、右折。
- 9、千旦の交差点を左折。クランク状に右折し直進。そのまま道なりに進むとJR和歌山線の踏切あり(小さい踏切)。
- 11、踏切を渡ると、左手にファミリーマート有り。突き当りを左折。
- 12、県道 138 号を道なりに進んで伊太祁曾(いだきそ)神社の鳥居前へ。鳥居前を右折。
- 13、【29km地点】ほとんど T 字の交差点を右折。阪和自動車道の高架をくぐってすぐ左折。
- 14、県道9号を道なりに走って T 字路を左折。
- 15、県道136号、亀山郵便局北交差点を直進。
- 16、【34. 9 km 地点】大野中交差点を右折。左手にセブンイレブンがあります。
- 17、六道ノ辻交差点を左折。JR海南駅前です。左折すると、道なりにR42に合流します。
- 18、藤白交差点でR42と合流。このあたり、高速入口と交差するので走行に注意！
- 19、海南を過ぎてから9kmほどは、車の交通量が多い道なので走行要注意！トラックも多いトンネルも多いです。
- 20、【52. 8km地点】車道の高架を登ってしばらく行くと、野交差点。ここを右折して県道20へ。ちなみに高架を登らずに側道へ入ると信号をパスできて速いですが、細い道なので、迷いたくない人は高架を行きましょう。
- 21、県道20をしばらく行くと、海岸沿いの道になる。ひたすら湯浅方面へ。途中分岐等あり。注意。
- 22、湯浅でR42に合流したら、あとはひたすら国道を走るのみ。
- 田辺の市街地に入っすぐのローソンが、PC1 ローソン田辺元町中之谷店。道の左側です。

- 23、田鶴交差点でR42バイパスと合流してからはひたすら南下。
- 海岸沿いのアップダウンの連続にペースを乱されないよう注意してください。前方に潮岬半島が見えてきたら、串本は近いです。串本の市街地に入ったら、PC2 ローソン串本町串本店がR42右側にあります。
- 24、ローソン串本町串本店近くにうすかわ饅頭のお店があります。
- 25、PC2を出てから那智勝浦までは、沿道に温泉がたくさんあります。余裕のある方はどうぞ。魚料理がおいしいそうな店もいっぱいあります。勝浦はマグロが有名です。
- 26、【220km地点辺り】那智勝浦に入る手前、湯川温泉の桜湯を過ぎたあとの湯川トンネル。「自転車・歩行者は右へ」と歩行者用トンネルに誘導されています。そちらへ行く方が無難です(本線トンネルは自転車通行不可ではない様子)。
- 27、【257. 6km地点】R42鬼ヶ城トンネルは自転車通行不可のため、木本町交差点で左折して、木本トンネルを通行してください。
- 28、【259km地点】ふたたびR42と合流。「熊野尾鷲道路」は自動車専用道路のため自転車は通行できません。頑張って佐田坂を登りましょう。しばらく激坂登りです。南紀の難所・佐田坂をお楽しみください！車に注意する心配は減りましたが、凶暴なシカには要注意！！飛び出してくるぞ！
- 29、長い矢ノ川トンネルを抜け(下りにも鹿はいるぞ！注意！！)、延々下ると尾鷲市街。PC3へはあと峠をひとつ越えて海沿いを走ります。
- 30、PC3 道の駅マンボウは有人チェックです。スタッフがお待ちしています。十分にここで休息をとってください。お弁当を申し込まれた方はここで食事を摂ってください。ここで休息を取った方が、R260を楽にこなせると思います。
- 31、PC3を過ぎるとR260に入ります。峠を一つ越えると、ファミリーマートがあります。暗い中R260に突入すると、坂道・トンネル・真っ暗闇、坂道・トンネル・真っ暗闇、坂道・トンネル・真っ暗闇・・・の繰り返しです。延々続きます。かなり体力(精神力)を消耗しますので、くれぐれもご注意ください。真っ暗闇で、野生の鹿や猿、その他得体の知れない動物がご挨拶してくれます(試走スタッフ談)。「その度に心臓が一時停止し背筋がゾ～っと！怖いです。」とのこと。単独走行はくれぐれもご注意ください・・・
- 32、約340キロ地点 ローソン 南伊勢南島店
コンセント付のイトインコーナー有り。R260の途中、南島バイパスが開通しており、自転車も通行が可能です。右折して旧道を進んでも直進してバイパスを進んでも構いません。
- 33、R260から県道16に入り、しばらく行くと前方の高台にファミマの看板が・・・PC4 ファミリーマート志摩磯部店です。
- 34、PC4から県道61、R167とコースを辿り、山の中で近鉄線と併走します。松尾駅の次の加茂駅近くに通過チェックのサークルK鳥羽松尾町店があります。
- 35、鳥羽市街は交通量も多いので注意して下さい。特に観光バス、タクシーが多いです。
- 36、県道37鳥羽松阪線、通称「鳥羽道」へ入ります。五十鈴橋を渡る所が細くてややこしいので注意を。
- 37、伊勢市駅前を左折してしばらく行き、掛橋交差点を左折、県道13号を道なりに行くとR42と合流します。R42を尾鷲方面へ走ると、PC5 サークルK勢和多気店がありま

す。道の右側です。

38、【455. 3km地点】道の駅飯高駅。温泉があります。

39、のどかな風景を眺めながらゆっくり進むと、高見峠のループ橋が見えてきます。

40、高見トンネルを越えたらひたすら下り。途中【501km地点】で左折するのを忘れなく。

41、【511. 5km地点】左折して五社大橋を渡ります。後はしばらく県道39で吉野川南岸を走ります。

42、県道39をひたすら走ると、R24に合流します。そう、近畿ブルベではおなじみのコースに合流ですね。

43、本陣交差点を左折して川を渡ると、ほどなく**PC6 ファミリーマート五条病院前店。道の右側にあるので、注意して下さい。自転車は隣の松屋食堂の駐車場に停めてください**

44、PC6を出て丹原交差点を右折。ここからは次の通過チェックまで紀ノ川南岸を走ります。

45、県道55、R370、県道13号と名前を変えながら道は川沿いを走ります。

46、【579. 8km地点】丸栖交差点、右折するのを間違いない。

47、【583. 8km地点】通過チェックのセブンイレブン和歌山下三毛店。

48、北へ進み踏切を渡って左折し、狭小路を道なりに進みます。夜間は真っ暗なので注意！

しばらくはしると紀ノ川堤防です。

49、あとは往路と逆の道を泉佐野まで帰って下さい。

50、今回のフィニッシュ地点は、樽井公民館です。

51、くれぐれも事故には注意してください。気を抜かずに無事に帰ってきてください。

52、道中、体調不良になった方は、決して無理をせずリタイアする判断をしてください。

53、ブルベはレースではありません。競い合ったりせず、全てにおいて自己責任のもと、余裕を持って自転車に乗ることを楽しんでください。

【装備に関する注意事項】

前照灯(ライト)をいわゆる「セーフティ・ライト(フラッシュライト)」タイプのもので車検を受ける方がたまにおられますが、このようなセーフティ・ライトの類では明らかに照度不足です。

ブルベは長時間の夜間走行を伴います。また、都心部の夜間照明が多数ある道ばかりでなく、真っ暗な山道も通過しなければならない場合もあります。

その点からも、確実に前方を照らすことの出来る前照灯(ライト)の装備が義務付けられています。

また、コースによっては、長いトンネル等もあり、BRM/AJ規定にもあるように、「灯火は常に完全に機能することが必要である」ことが参加者に要求されます。

そこで、オダックス近畿では、ここにあらためて参加者への注意喚起を行ないます。

- 「セーフティ・ライト(フラッシュライト)」タイプのライトのみの装備では出走不可。
- 確実に前方を照らすことの出来る前照灯(ライト)を装備すること。
※少なくとも10m前方を照らすことの出来る照度があるライトを装備のこと。
- 前照灯、尾灯は必ず「車両本体(ハンドルバーやアタッチメントを含む)」に確実に固定されていること。 ※例えばフロントバッグやサドルバッグにのみライトを取り付けている場合は不適合。
- 反射ベスト、反射たすき、反射肩掛けベルト、もしくは前後の見えやすい位置に反射素材がついた同様のものを、常時着用してください。
- 前照灯を2灯以上装備する事を強く推奨します。
それ以外にも、ヘルメット等に装着するタイプのヘッドライトを使用する事を推奨します。

参加者のみなさんの安全面を考えての義務付けですので、ご理解の上での参加をお願いいたします。

《参考》BRM/AJ規定(抜粋)

第6条 装備

夜間走行のために、車両に確実に固定された前照灯と尾灯とを装備することが必要である。灯火は常に完全に機能することが必要である(予備灯火は強く推奨される)。少なくとも一つの尾灯は(点滅モードではなく)常時点灯モードでなければならない。上記の要求を満たせない走者は出走を許可されない。

灯火は夕方から明け方まで点灯しなければならない。また他の視界不良の条件下(雨天、霧等)でも同様である。走者は、グループで走ろうと単独であろうと上記の要求を満たさねばならない。いかなる走者も各自の灯火を使用しなければならない! すべての走者は反射ベスト、反射たすき、反射肩掛けベルト(Sam Browne belt)、もしくは前後の見えやすい位置に反射素材がついた同様のものを着用しなければならない。

本夜間走行規則のいかなる違反をも、走者は即座に失格となる。

ベル装着とヘルメット着用を義務付ける。400km以上では前照灯2つ、ヘルメットに尾灯(点滅可)を装着すること。

BRM/AJ 規定

(<http://www.audax-japan.org/brevet/brm/brm-part-regulation/>)

オダックス近畿BRM実施要項

オダックス近畿主催のBRMはACPのBRMルールに基づき、日本の道路状況などに応じて一部独自規定を加えて実施します。

BRM参加資格について

- 20歳以上の健康なサイクリストであること
- 自身の健康管理や、BRM参加中の自身の行動について、全て自己責任で対応できること
ブルベ開催中、それぞれの走者は私的な走行を行っていると思なされます。走者はすべての交通規則を遵守して走行し、すべての交通信号を守らねばなりません。主催者は、ブルベのコースにおけるいかなる事故についてもその責任を負うことは不可能であり、また、責任を負わない事をご理解頂ける方しか参加できません。

- 損害賠償責任付保険および参加者自身の死亡・後遺症等を補償する保険に必ず加入のこと
主催者は、BRMは必ずしも危険なスポーツとは考えておりません。しかし公道を長時間走る上に、夜間や悪天候など様々な環境の中で走ることになり、大きなリスクが伴います。そのリスクを全て自己の責任で管理しなければならないことを十分ご理解の上で参加していただくよう、お願いいたします。BRM参加に当たっては、個人の責任として損害賠償付保険に加入することが必須事項です(AJ規定)。また、日本国内で開催されたBRM等で、参加者自身が事故等で大きなケガ、後遺症等を負われるケースも発生しています。そこでオダックス近畿では、BRM参加資格として、損害賠償責任付保険(AJ規定額以上の契約必須)および参加者自身の死亡・後遺症等を補償する保険(個人の補償額についてはオダックス近畿では規定しません)、両方に加入していることを必須事項とします。BRMにエントリーする時点で必ず、参加するBRMの開催期間に有効な損害賠償付保険および参加者自身の死亡・後遺症等を補償する保険に加入していなければなりません。

参加者が契約される保険の内容は、参加者個人の責任で確認(一部の保険ではブルベが補償対象になっていない場合があります。)してください。また、オダックス近畿が保険会社に対して確認することはありませんし、保険契約内容等について責任も負いません。

BRM 出走に必要な賠償付き保険の内容(AJ 規定より)

保険会社 保険種類	下記の条件を満たせば、保険会社、保険の種類は問いません。
補償内容	サイクリング中に起こした事故によって損害賠償責任を負った際に支払われる保険であること。
補償金額	賠償責任保険金額1億円以上であること。
保険期間	参加するBRMやフレッシュのスタートからフィニッシュまでが保険期間に含まれていること。

オダックス近畿

BRM 出走に必要な参加者自身の死亡・後遺症等を補償する保険内容

保険会社 保険種類	保険会社、保険の種類は問いません。 ※損害賠償責任付き保険と別会社・別契約のものでも構いません。(例:損害保険と生命保険を別に契約するなど。)
補償内容	サイクリング中に起こした事故によって本人が死亡・後遺障害を負った際に本人が指定した保険金受取人に対して支払われる保険であること。
補償金額	特に規定はしません。
保険期間	参加するBRMのスタートからフィニッシュまでが保険期間に含まれていること。

注意

- サイクリング中の事故が補償対象かどうかはご自身で保険会社に確認してください。
 - AJや各主催クラブが保険会社に対して確認することはありませんし、責任も負いません。
 - JCA会員の自転車総合保険はブルベには対応していませんので、ご注意ください。
- ※オダックス近畿では、参加者の保険加入斡旋等はいたしません。各自でご加入ください。

○まず200kmの認定取得から

オダックス近畿主催のBRMは、どの距離からでも参加可能です。200kmの認定取得後、いきなり600kmへの参加も可能ですが、ブルベに参加される方は、200、300、400、600kmと、順次に認定を取得される事を強く推奨します。BRMでは主催者によるサポート、回収はありませんので、よくご検討の上、参加申込みしてください。

オダックス近畿・BRM参加申込み方法

○スポーツエントリーでお申し込みください。

※参加費は各BRMにより異なります。

参加申込用紙・誓約書を記入し、当日受付にご提出ください。

※参加に関する案内等は、メールで、スポーツエントリー申込み時に各自で入力されたメールアドレス宛に開催1週間前頃に送信します。

携帯電話のメールアドレスではなく、できる限りPCのアドレスで登録をお願いいたします。

使用自転車と義務付け装備

長距離ロングライドに適した自転車で参加してください。

道路交通法の保安部品を含む下記5点を義務付けとします。

1. ベル	必ず装備してください
2. 前照灯	400km以上の距離では2灯以上(AJ規定)
3. 尾灯	赤色で常時点灯可のもの(点滅のみは不可) 必ず常に自転車に装着すること。 ※後方に走者がいる場合は、必ず点灯モードにしてください。 400km以上はヘルメットへの尾灯(点滅可AJ規定)装着 後続車両からの視認性向上のため
4. ヘルメット	必ず装着してください
5. 反射グッズ	反射ベストなどを装着のこと。前傾姿勢で後方から見える腰(臀部)への装着が理想的。

※当日の装備チェックで不備がある場合には出走できませんのでご注意ください。

- BRMでは、自転車の尾灯を必ず「点灯可の物(点滅式不可)」としています。単独で走行しているときは、点滅式の方が目立って非常に良いのですが、数台でグループ走行のとき(特に夜間の長時間)は、前の走者の点滅しているLEDライトをずっと見ながら走行していると(視線がちょうどその辺りに行く)、頭がぼやけてくるような感覚に陥ります。これは「幻覚作用」だ、という人もいます。そのためBRMでは禁止されています。特に雨天だと余計に視野が狭くなり気味ですし、目やスポーツグラスが濡れて、ただでさえ車のライト等がぼやけて見えます。後続の走者がいる場合、尾灯は必ず「点灯」モードにしてください。
- ちなみにヘルメット後部につけるライトは「点滅」でもOKとしています。これは走者の「高さ」を車などに知らせるための役割を持っています。グループ走行のときには、視線から少し外れるため、点滅でもOKとしています。

その他装備

ロングライドに備え必要なものを携行してください。工具、雨具、補給食、救急用品、着替え、予備電池、地図など、コースによってはコンビニエンスストアがない区間もあります。

マッドガードは後続ライダーへの配慮だけでなく当人の腰を冷やさないで済みます。

リタイヤ/失格

必ず当日緊急連絡先に連絡をしてから、自力でフィニッシュ地点に行くか、直接帰宅してください。主催者による回収は行いません。

禁止事項

○PC以外でのサポートの禁止

サポートは任意としますが、PC以外でのサポート(食糧補給や、装備の受渡し等)は禁止です。参加者同士や事前にサポートを取り付けたのではない第三者の手助けは認めず(例:自転車店での修理、PC間におけるコンビニでの補給、救急活動など)。

○コース上のサポートカー等の伴走は禁止です。

○代替出走の禁止 代替出走が判明した場合には、以後オダックス近畿主催BRMへの参加をお断りします。

事前準備

○コースのキューシート、マップ等は、各自でご用意ください。

○コースは国道、県道や府道のほか、集落の中のかかなり細い道も含まれます。走行に際しては、自身のケガだけでなく、歩行者や対向車などにも十分気をつけてください。

○BRMでは天候変化、ミスコースなど様々な要因によって、予想以上に疲労することもあります。疲労や睡眠不足は思わぬ事故につながりますので、体調を整えて参加するようお願いいたします。集合場所周辺には宿泊施設も多数ありますので、必要に応じて各自手配してください。

キャンセル

キャンセルした場合でも参加費の返却はしませんのでご了承ください。キャンセルの際はできるだけ事前にご連絡ください。

イベントの中止・延期

気象状況の悪化などにより中止や延期にすることもあります。中止・延期の決定は当日の朝に行い、集合場所で発表します。当日の天候によって判断するため事前の決定・発表はできませんのでご了承ください。また、延期した場合でも、延期日程のBRM開催期間中に有効な損害賠償付保険に加入していなければ参加できません。

開催中でも急激な気象変化によって中止することもあります。

中止・延期になった場合でも参加費の返却はしませんのでご了承ください。

当日の受付とスタート

○受付時間は参加案内でご確認ください。

参加申込書に必要事項を記入して、受付に提出してください。提出が無い場合は出走できません。

○ブルベカードを配布します。

スタート時刻に遅れた場合は30分後までは出走できますが制限時間は規定のスタート時刻より計算します。遅れないようにお願いします。

○ブルベカード

ブルベカードにはPCの場所、距離、開設時間が記載されています。必要事項をアルファベットで記入してください。

※アルファベット名

ACPへの認定申請は参加者が申込み時に記載したアルファベット表記を使用し、不明なときにはブルベカードで最終確認します。表記が異なるとせっかく認定を取得しても別人として扱われ、SRメダル申請などの資格が得られなくなります。アルファベット名は正確にすべてのBRMで同じ書き方をしてください。

PCではブルベカードに到着時間を記入し、スタッフにサインをしてもらってください(コンビニ等のレシートチェックの場合もあります)。

フィニッシュではブルベカードに自ら所要時間と署名をした上、主催者に提出してください。BRMはブルベカードを提出しないとフィニッシュとならず認定を受けられません。ブルベカードの紛失、記入もれ、サインがない場合は認定されませんのでご注意ください。

ブルベカードを破損(雨や汗で濡らしたり)しないでください。

後日、完走者には認定シールを添付したブルベカードを返送します。シールに記載された認定番号はSRメダル申請時に必要になりますので大切に保管してください。また、海外のブルベに参加するときに必要なこともあります。

コントロール(PC=Point de Controle)

○コース途中には数カ所のPCがあり、通過しないと規定時間内にフィニッシュしても認定を受けられません。

○PCにはスタッフがいる有人PCとコンビニエンスストアなどを利用した無人PCがあります。

レシートチェック・・・無人PCでは、PCに指定された店で買い物をしてレシートをもらってください。レシートに記載された時間を通過時間とし、その時間を**参加者本人がブルベカードに記入して下さい**。次回以降の有人PCでブルベカードとレシートを照合してスタッフにサインしてもらって下さい。

有人PCまたはゴールの際は通過時間をブルベカードに記入して、スタッフにブルベカードへサインしてもらってください。

○PCにはオープンとクローズ時刻がありますので時間内に通過してください。

○PCクローズ時刻に遅れた場合には、規定時間内にフィニッシュしても認定は受けられません。またオープン時刻より早く到着した場合はオープン時刻までサインを受けることができません。レシートチェックの場合も、オープン前の時刻になっていると、認定は受けられませんのでご注意ください。

メダル

○BRMを時間内に完走すると記念メダルを購入できます。

○希望者はフィニッシュしたらブルベカードのメダル欄にチェックを入れて、メダル代(1,000円)を払ってください。

○BRM 200、300、400、600のメダルはPBPの翌年にデザインが新しくなります。

○SR(シュペールランドヌール)メダルは、AJが毎年秋に受付します。SRメダルはPBPの年に新しいデザインになります。

キューシート(ルートシート)

○ルートはキューシートをもとに道路地図などで確認してください。

コースは国道、県道や府道のほか、集落の中のかかなり細い道も含まれます。走行に際しては、自身のケガだけでなく、歩行者や対向車などにも十分気をつけるようにしてください。

○キューシートにはPC開設時間と位置、ルート確認に必要な情報が記載されています。

○1週間前までにオダックス近畿のwebサイトに、ダウンロード用ファイルを掲載しますのでご確認ください。

○BRM当日のキューシートやマップの配布はしません。各自でご準備ください。

問い合わせ先:オダックス近畿事務局

web: <http://audax-kinki.com>

e-mail: nfo@audax-kinki.com